

産学交流企画（島大・高専）2019 報告

報告者：青年部 和田潤一（建設、森林部門）

去る令和1年11月30日に、毎年恒例の島根大学・松江工業高等専門学校との「実践型 ロジカルシンキングセミナー 技術士と学生で地域の課題を考えよう 産学交流企画2019」を開催しました。今年度は島根県技術士会青年部会・島根大学の主催により、松江市の島根大学（大学会館）にて開催し、技術士と学生との交流を図ることが出来ました。

○企画概要

本交流企画では、技術士と学生が協力してテーマに沿った課題解決をすることで、課題解決に必要な能力を学生に身につけてもらうこと、学生が抱える社会人生活の不安に技術士が答えることを目的としています。

参加者は島根大学、松江高専4・5年生、計21人を7班に分け、そこに技術士を1～2名進行役として配置し、班別に以下のとおり企画を進めていきました。

- ・第1部 座学（技術士がどのように課題解決しているか）、社会人への相談タイム
- ・第2部 課題解決、プレゼン資料作成、プレゼン

○企画詳細

午前は午後からの課題解決にむけて、課題解決方法について、技術士の役割を交えて、技術士がどのように課題解決しているか座学を行いました。また、昼食時間も含めて学生が技術士に社会に出てからの不安を聴く、社会人への相談タイムも設けました。

午後からは、今年度のテーマを「東京オリンピック！どの種目を島根県に」として、課題解決を行いました。島根で開催するオリンピック種目を決めて、なぜ島根県で開催したいのかを第1部で学んだ課題解決方法を使って、学生が課題解決の立案、プレゼン資料をまとめました。技術士はサポート役として、学生のアイデアを引き出すフォローや分かりやすいプレゼンのアドバイスなどを行いました。



班ごとに課題解決しました



ipadを使ってプレゼンしました



優秀な解決案は表彰しました

○まとめ

今年度は技術士を含め40名を超える参加者があり例年と比較すると賑やかな雰囲気が進めることができました。また、学生と技術士の交流機会を増やすことを目的に、社会人への相談タイムでは1回あたりの制限時間を設け、技術士が移動することで多くの学生と交流してもらえよう工夫しました。高専の4年生においては来年も出席したいとの話を先生から聞いています。今年度の反省を踏まえて来年度は更に良い企画となるようにしていきたいと思えます。

最後になりましたが、事前打合せから当日の準備・運営まで、技術士会の皆さまに大変お世話になりました。また、参加者募集のため、島大と高専の先生には学生への募集チラシの配布やとりまとめにご協力いただき、本当にありがとうございました。

●参考

各班の課題解決案（※印は表彰）

- 1 班 島根でのカヌースプリントの開催について
- 2 班 テニスは島根で決めた！！
- 3 班 マラソンスイミング
- 4 班 いい波のってんね～ ※高専賞
- 5 班 We are planing triathlon in Shimane!
- 6 班 ボートアイランド宍道湖 ※聴講賞（最優秀賞）
- 7 班 マラソンスイミング島根でいいんじゃない？ ※島大賞

参加者数

島根大学	10名
松江高専	10名
技術士	17名
大学・高専教員	6名
合計	43名

タイムスケジュール

- 10:30～ 開会、スケジュール説明
- 10:45～ 第1部（自己紹介と社会人への質問）
- 11:45～ 技術士の課題解決手法
- 12:00～ 昼食
- 13:00～ 第2部（課題解決、プレゼン資料作成（keyNote））
- 15:30～ プレゼン
- 16:45～ 審査、今日のまとめ
- 17:00 閉会